

水稻新品種「熊本3号」の特性

農業研究センター 研究所 作物部
担当者：泉 恵市

研究のねらい

本県の「山麓準平坦」及び「球磨地域」の普通期栽培の基幹品種である「ヒノヒカリ」は、食味評価が高く作付けが急激に増加し、地域によっては水稻作付面積の9割近くになっており、刈遅れによる品質低下や共乾施設等の運営に支障をきたしている。

また、晩生の良食味品種「よかほなみ」は、粒厚が薄く収量・品質が不安定で生産者の評価が低い。そこで、これらに替わり中生の極良食味品種「ヒノヒカリ」と組合せ可能な品種として、晩生で栽培特性に優れた、良質・極良食味の「熊本3号」を育成した。

研究の成果

1 来歴

晩生の栽培特性に優れた極良食味品種を育成目標に、熊本県農業研究センター農産園芸研究所において、晩生、極良食味の「西海186号(後のユメヒカリ)」を母、極早生、極良食味の「キヌヒカリ」を父とした人工交配による組合せから育成された。

2 特性概要

- (1) 出穂期・成熟期は「よかほなみ」より2日程早く、「ヒノヒカリ」より7日程度遅い晩生種である。
- (2) 稈長は「よかほなみ」よりやや長く、「ヒノヒカリ」とほぼ同程度、穂長も同程度で、穂数がやや少ない。
- (3) 収量性は「ヒノヒカリ」「よかほなみ」と同程度以上である。
- (4) 玄米千粒重は「ヒノヒカリ」「よかほなみ」よりやや重く、やや大粒である。
- (5) 品質は腹白、心白、乳白の発生は極めて少なく外観品質は良好である。
- (6) 耐病性はいもち病・白葉枯病とも「ヒノヒカリ」「よかほなみ」より僅かに強い。
- (7) 耐倒伏性は「ヒノヒカリ」より明らかに強く、「よかほなみ」並である。
- (8) 搗精歩合は「ヒノヒカリ」並で、白米白度は「ヒノヒカリ」より高く「ヒゴノハナ」並である。
- (9) 食味は「ヒノヒカリ」に近い極良食味である。

普及上の留意点

- 1 山麓準平坦地域及び球磨地域を中心とした普通期栽培用品種として、「よかほなみ」及び「ヒノヒカリ」の一部に替えて作付する。
- 2 いもち病にやや弱いので、適期防除に努める。
- 3 耐倒伏性は強であるが、品質・食味を維持するため極端な多肥栽培を避ける。
- 4 穂数が少ないので、健苗を移植し、浅水管理等により初期生育を促進する。

表1 生育・収量

試験場所	品種名 系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/ m ²)	倒伏 程度	穂い もち	玄米重 (kg/a)	同左 対比	千粒重 (g)	検査 等級
農 産 園 芸	熊本3号	9.4	10.24	82	19.6	326	0.0	0.8	55.5	103	23.3	2.6
	標) ユメヒカリ	9.6	10.28	78	19.9	352	0.0	1.3	53.9	(100)	22.0	2.8
	比) ヒゴノハナ	9.2	10.23	76	19.9	388	0.0	1.0	55.4	103	22.7	2.0
	比) ヒノヒカリ	8.27	10.16	81	19.5	363	0.0	1.4	53.5	99	22.3	3.3
錦 町	熊本3号	8.30	10.13	87	17.3	512	1.3	0.9	62.8		23.1	1.5
	比) ヒノヒカリ	8.22	10.5	91	18.4	526	2.3	1.3	58.3		21.1	3.5
	比) よかほなみ	9.2	10.16	85	17.3	546	1.3	1.2	57.7		19.8	5.5

注) 農産園芸は平5~8年の平均。錦町は平7~8年の平均。

表2 搗精特性

品種名 系統名	水分 (%)	搗精歩合(%)			白米白度(%)		
		25	30	35(秒)	25	30	35(秒)
熊本3号	13.7	91.7	90.8	89.9*	36.6	38.3	39.9*
標) ヒノヒカリ	13.5	91.6	90.7	89.8*	35.8	37.6	38.7*
比) ヒゴノハナ	13.5	92.1	91.2	90.5*	36.5	38.3	40.0*

注) 平成6~7年標肥栽培の平均。*は適搗精を示す。(秒)は搗精時間。

表3 食味官能評価

場所	実施時期	基準品種	総合	外観	香り	味	粘り	硬さ	パネル数
育 成 地	H6.1.17	ヒノヒカリ	-0.083	0.000	-0.188	0.000	-0.125	+0.188	32
	H7.12.25	"	+0.050	-0.100	-0.150	-0.050	-0.150	+0.250	28
	H8.12.22	"	+0.208	+0.708*	-0.167	+0.375	0.000	+0.250	32
穀 検	熊本3号	日本晴(滋賀)	+0.100	+0.100	+0.050	+0.100	+0.100	-0.250	農産産
	ユメヒカリ	"	0.000	+0.050	+0.100	0.000	-0.050	-0.250	"
	熊本3号	"	+0.300*	+0.150	+0.050	+0.300	+0.100	-0.100	城南産
		ユメヒカリ	+0.200	+0.250	+0.150	+0.200	+0.100	-0.150	"

注) *は95%信頼限界で基準米と有意差があることを示す。穀検は平成7年産。



写真1 株標本

(左:熊本3号 中:ヒノヒカリ 右:ヒゴノハナ)

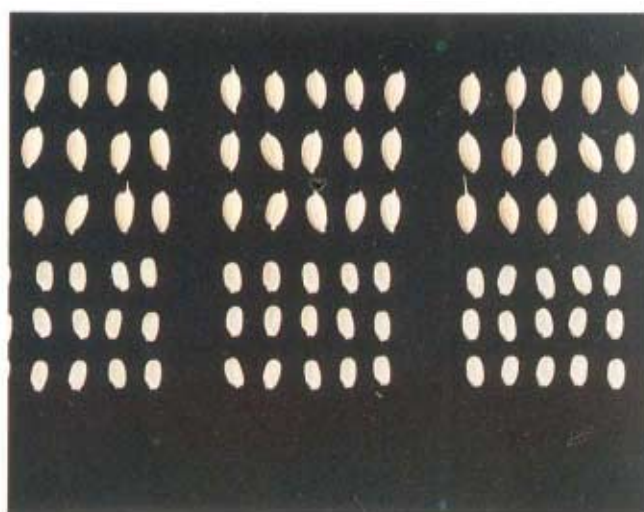


写真2 籾・玄米標本

(左:熊本3号 中:ヒノヒカリ 右:ヒゴノハナ)